



# 山口としや 通信 第4号

## 一般質問に立ちました

3月6日から始まった3月定例会の一般質問に、立ちました。選挙活動中に訴えてきた教育・環境・平和を中心に質問しました。ずいぶん緊張しましたが、聞きたかったことはすべて聞けました。回答には満足できない部分もあり、今後も粘り強く追求していきます。また、文教福祉常任委員会に所属が決まり、委員会の中でも質問できました。何もかもが初めてでしたが、要領をつかむことができ、次回からはさらに自分のカラーを出していきたいと思えます。



### 2013年3月議会報告

## 木質エネルギーを活用し、地域振興に生かそう!!

(質問) 第2次白山市環境基本計画の調査結果で、木質バイオマス資源の50%が未利用となっている。活用率をあげる施策として何か行っているか。

→(市民生活部長) 林業専用道が整備されていないために間伐材の搬出コストが高く、活用に至っていないのが現状である。平成24年度より、林業専用道の整備を国の制度を活用し行っている。新年度も引き続き整備が行われることから、条件を整えば、間伐材の有効活用が図られる。

(質問) 木質バイオマス資源をエネルギー資源と考え、その活用積極的に取り組むよう要請します。

→(産業部長) 木質エネルギーの活用を行っていくためには、チップやペレットなどバイオマス燃料の生産、流通面でのコスト削減や需要の増加をはかることが大切であり、現状では採算ベースに達していないという問題がある。

林業専用道を利用することで、搬出コストの削減を図り、合板材や木杭などとして活用し、資材の有効活用に努めたい。

白山しらみね薪の会では、木質エネルギー

ーとして再生可能エネルギーとして薪を使用することで、間伐材の有効活用を図っていくと聞いている。また、金沢市の再生エネルギー促進事業は、障がい者の就労支援を組み合わせたモデル事業として取り組むと聞いている。ともに、今後の活動を注視していきたい。

(質問) ドイツでは、木質エネルギーの利用を、単に環境問題とだけとらえているのではなく、その地域の雇用を生み、活性化させるものとしてとらえて取り組んでいます。是非、白山市でも地域活性化策として取り組んでほしい。

そのためにも、安定的な消費の確保が必要なので、薪ストーブやペレットストーブやボイラー購入に白山市として補助でき



我が家のペレットストーブ。燃料は富山県産です。

ないか。

→（市民生活部長）県内では4市2町が補助制度を設けているが、補助実績が低い。

林野庁より木材利用ポイント事業概要が示された。4月から木材利用に応じてポイ

積極的に活用するという回答ではありません。林業専用道を整備する中で、有効活用に努めるということです。市民からの盛り上げが必要と感じました。

（質問）教職員の時間外勤務を少なくする具体的な方策はないのか。

→（教育長）学校へ求める報告書について、必要な調査を精選し、県教育委員会等が行う調査内容との重なりやあるいは重要性を吟味して実施してきた。今後とも勤務が過重にならないように教職員の意見や提案を聞いて、できるだけ改善に努めたい。

（質問）教職員の時間外勤務を少なくするためには仕事量を減らすことと、もう一つ教職員の数を増やす方法がある。特別支援員を4名増加は高く評価する。その一方で生徒数400人以上に1名配置となっていた中学校の事務補助員を廃止すると聞いた。なぜ、今廃止なのか。また、教職員の多忙化を解消するためにもその復活を要望する。

→（教育長）学校事務は県費職員のみでの対応が可能であると判断し、今年度より廃止することとした。

しかし、委託給食の事務や、学校開放、部活動の補助事務など事務補助員の役割がきわめて大きいという指摘があり、今後詳

ントを付与することにより、国産材の利用促進を図るものである。この事業の詳細やすでに補助している自治体の動向を見極めながら検討して参りたい。

細の実態把握に努める。

（質問）年度当初の4月は事務量も多く、事務職員も忙しい。時間外勤務も多くなる。この4月に、教育員会として事務職員の負担軽減になるような方策はないのか。

→（教育長）この4月早々には難しい。この後、もう少し細かく実態を調査し、実態把握してから考えていきたい。

白山市としては、図書館司書を全校配置したり、不登校の対応のために中学校には、教育相談員を配置したり、特別支援員を多くするなど補助している。



「事務補助の役割がきわめて大きいという指摘があり、今後詳細の実態把握に努める。」実態把握し、その結果で復活もありうるか！

## 小規模学校検討委員会は5月に設置、年度内には答申

（質問）地域における学校の果たす役割をどのように考えるか。

→（市長）学校が地域と連携し、協力しながら教育活動を推進し、地域を愛する感性

豊かな人間の育成に努めていくことが大切と考える。そういう意味から、学校は学習を通して、子どもと地域を結びつける役目を担っている。

また、学校は、地域の学術、文化、スポーツ活動などの生涯学習を担う地域コミュニティの拠点としての役割も果たしているととらえている。

今後も、学校が地域から支えられた教育を推進し、子どもたちも地域に貢献していく関係を相互に構築していくことを望んでいる。

(質問) 小規模学校検討委員会を設置し、白峰小学校、河内小学校の検討をすると聞いた。10名程度の委員で構成するということだが、財政の視点のみで検討しないようにしてほしい。

検討委員会で検討する際の観点は何か。また、いつ頃までに答申を出すのか。

→(教育長) 子どもや保護者の視点に立った学習環境の検討が必要。



小規模学校検討委員会では、財政面だけでなく、通学距離や地域と学校の関わりも観点としていく！！

## 最近参加した集会から

### 白山しらみね薪の会

3月3日(日)に「白山しらみね薪の会の設立フォーラム」が開催されました。4月から活動を始める「NPO法人白山しらみね薪の会」が発足しました。今まで使われなかった木材を薪として利用しようとする団体です。「薪ストーブを設置したいけど、薪ってどこに売ってるの?」という人と「薪はいくらでも作れるけど、誰か使う人がいるの?」という人を結びつける活動を考えているようです。大きく発展するといいいですね。

記念講演は、長野県在住の作家の田淵義雄さんでした。

東京下町生まれの田淵さんですが、田舎の生活にあこがれ、今から30年前に山里に居を移し、薪ストーブ生活を始めたそうです。

薪をつくり、薪をくべて生活する。印象に残った言葉は薪エネルギーは「気高いエネルギー」という言葉です。薪を作る作業は危険、きたない、きつい、いわゆる3Kで現在では敬遠されがちであるが、そこには損得抜きで考え、どう生きるのかという生活の哲学があらわれている。そういう意

また、通学距離や地域と学校の関わりも踏まえる。5月には委員会を設置し、年度内には答申を出していただく。

味で、「気高い」エネルギーと考えるそう



講演された作家の田淵義雄さん。落ち着いた口調で自然の中での暮らしを楽しんでる様子が伝わってきました。



です。チェーンソーのオイルにもこだわり、環境に配慮した100%植物性のものを使う。そこまでしないとだめだそうです。

大変、楽しそうに語る口調に人生の充実感を感じました。そのとき、私が小さい頃、風呂を薪で沸かしていたことを思い出しました。そういえば、薪割りをやったこと。冬になる前に、ひと冬分の薪を作るために

家族でがんばったことを思い出しました。手取川ダムができて、下水道が入ったときに薪ボイラーはなくなり、灯油のボイラーに変わったこと。

自然と共に生きる、まさに再生可能な社会がそこにあったのです。決して利便性だけを追求するのではないのです。

## あの時を経験して、今がある

3月20日(水・祝)にNPO法人「ワネススクール」主催の「若者たちのための進路、就労相談支援ガイダンス」が開催されました。前半部分に行われた「あの時を経験して、今がある」の題で行われた、不登校・引きこもりを経験した子を持つ保護者の話を聞いてきました。

「ワネススクール」はフリースクールで、不登校の子どもたちの数少ない受け皿になっています。



活動の様子です。ボランティア・野外活動も大事な取り組みです。

2人の保護者から、  
「このスクールに通うようになり、子どもも変わったが、自分自身も変わった。」  
「それまでは、学校には行かなければならない。朝、お腹が痛くなるのは体のどこかが悪いんだ。そう思い込んでいたが、今は学校に行かなくても、何とかなると思えるようになったし、子どもの心の成長を待とうと思えるようになった。」

「ワネススクールにもすぐには通えな

かったが、徐々に通うようになった。」  
「こうしなければならない制約が少なく、個々に合わせてくれるのがいい。」という話を聞くことができました。

代表の森要作さんは、「10代の子どもなら、1年で自分の道を見つけて、就労まで心が成長する。20代、30代になると、数年かかる。ぜひ、悩んでないで、はやく連絡してほしい。」と語っていたのが、印象的でした。

### 各団体の連絡先

白山しらみね薪の会 〒920-2501 白山市白峰イ136-1  
TEL 076-259-2192 代表 風 - (はじめ)  
Facebook にページがあります。

ワネススクール 〒924-0875 白山市辰巳町75-4  
TEL 076-274-7676 代表 森 要作  
e-mail onenes@ivory-plala.or.jp HP <http://www.oneness-school.org/>

5月12日は  
母の日です。



〇市政へのご意見、ご要望をお寄せください。  
TEL 275-0179 FAX 275-0924  
e-mail [toshiya@y-toshiya.com](mailto:toshiya@y-toshiya.com)  
ホームページ <http://y-toshiya.com/>